

事業計画書

1 大会概要

大会名	第10回 国際スポーツ大会																														
競技	ホッケー																														
主催者等 (予定)	主催：国際スポーツ連盟 主管：(公財)日本スポーツ連盟、(公財)東京スポーツ連盟 後援：未定 協賛：未定																														
開催日程 (予定)	令和4(2022)年12月1日～令和4(2022)年12月5日 5日間																														
会場 (予定)	東京ホッケーフィールド、東京アリーナ ※未定の場合には、候補の会場を記載																														
大会規模 (過去実績等より)	参加国数：20か国 選手数：500人又は 団体 観客数：10,000人																														
所管国際統括競技団体	名称：国際スポーツ連盟																														
同大会の 過去の開催 状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催年</th><th>開催国</th><th>開催都市</th><th>参加国数</th><th>観客数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021</td><td>日本</td><td>東京</td><td>20</td><td>10,000</td></tr> <tr> <td>2017</td><td>米国</td><td>シカゴ</td><td>20</td><td>10,000</td></tr> <tr> <td>2013</td><td>ブラジル</td><td>サンパウロ</td><td>15</td><td>6,000</td></tr> <tr> <td>2009</td><td>フランス</td><td>パリ</td><td>15</td><td>6,000</td></tr> <tr> <td>2005</td><td>韓国</td><td>ソウル</td><td>12</td><td>5,000</td></tr> </tbody> </table> <p>※開催が予定されている大会を含め、5大会までを記載 ※上記以外で過去に国内で開催した実績がある場合は、下記に記入</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>2001年 日本(福岡市)にて第5回大会を開催 参加国数：10、観客数：3,000人</p> </div>	開催年	開催国	開催都市	参加国数	観客数	2021	日本	東京	20	10,000	2017	米国	シカゴ	20	10,000	2013	ブラジル	サンパウロ	15	6,000	2009	フランス	パリ	15	6,000	2005	韓国	ソウル	12	5,000
開催年	開催国	開催都市	参加国数	観客数																											
2021	日本	東京	20	10,000																											
2017	米国	シカゴ	20	10,000																											
2013	ブラジル	サンパウロ	15	6,000																											
2009	フランス	パリ	15	6,000																											
2005	韓国	ソウル	12	5,000																											
状況	<input type="checkbox"/> 誘致活動開始前 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 誘致中																														

2 誘致活動について

開催地の 決定時期	決定時期： 令和3年10月頃 決定方法： 国際スポーツ連盟理事会における投票
他都市の立候補状況	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり（ オーストラリア（シドニー） ）
誘致活動の 概要	<p>目的： 本大会は4年に一度開催されている世界最高峰の国際大会であり、大会開催を通じて、国内における選手の競技力向上及び競技の普及振興を図る。</p> <p>期待される効果： 世界トップレベルの大会開催を東京で実現することによって、都民のスポーツへの興味や関心を高める。</p> <p>活動内容： 国際連盟に提出する招致計画書の作成、PR活動。</p>

3 大会開催時の取組

東京都と連携したスポーツ振興事業の概要	<p>目的： 国際大会の観戦機会を増やす。</p> <p>期待される効果： 競技への興味関心を高めるとともに、都民のスポーツに対するモチベーションを向上させる。</p> <p>事業内容： 都民を対象とした観戦招待（バックヤードツアーを含む）。</p> <p>参加する都民の人数： 30人（親子15組）</p>
東京2020大会レガシー要素	<p>東京2020大会競技種目であり、大会会場を使用予定。</p> <p>※東京2020大会の競技種目である、会場となった施設で大会当時と同様の競技に関する大会を開催するなど、東京2020大会のレガシーとなる要素を記載</p>
関連する東京都の事業	<p>トップアスリート発掘・育成事業第5期生〇〇〇〇選手が出場予定。</p> <p>※「東京アスリート認定制度」や「トップアスリート発掘・育成事業」等により都が発掘・育成したアスリートの出場機会があるなど、関連する東京都事業を記載</p>
東京のプレゼンス向上に資する取組	<p>・大会の見どころ等をPRする番組をYou tube等で配信 ・国際・国内メディアへの積極的な働きかけ</p> <p>※メディア露出や観客を増やす工夫等、大会のPRにつながる取組を記載</p>
安全対策 (新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を含む)	<p>・大会開催時の新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、スポーツ庁をはじめとする各種ガイドラインを遵守</p>